

生態を知って堅く防ごう

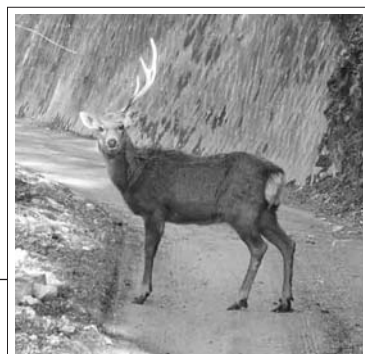
獣害対策

シカ・イノシシ編

シカ編

日本には北海道から沖縄県まで多雪地方を除く広い範囲にいます。9～11月ごろが発情期で、この時期オスは「ミュウーン」「プフィョー」と聞こえる特有の声で鳴きます。山（森林）と田畑（草原）の間を行き交い、生息地が農林業の場に近ことから、被害を引き起こしやすい動物です。

【ニホンジカ】ニホンジカは、エゾシカ、ホンシュウジカ、キュウシュウジカ、ツシマジカ、ヤクシカなどに分類されます。最大の林業加害種であると同時に、すべての農作物がシカの被害対象です。



林道を横切るシカ
オスジカの角は毎年春に落ち、秋に向けて新しい角と生え変わる。

シカの正体はこうだ!

目・耳

人間と大差ない。



鼻

発達していて、臭いで危険を察知する。

足

ひづめはあまり丈夫ではなく、足場の悪いところを嫌う。雪は苦手。2mの高さを跳び越えるほどの跳躍力を持っており、柵の地際にすき間があれば、くぐり抜けることがあります。

シカ Q&A

Q 何を食べているの？

A 草食性で植物はほとんど何でも食べます。シカは大食漢で日に1頭当たり体重の10%弱に当たる3～5Kgの草を食べます。面積でいうと、日に約30m²、1年では1haの草を食べていることになります。

Q どのくらい子どもを産むの？

A 繁殖力が強い動物で、栄養状態がよければ生後1年目から毎年春（5～7月上旬）に1頭の子どもの産みます。増加率は年約10～20%といわれ、条件によっては4年で約2倍にまで増える可能性があります。（一夫多妻）

対策

防除柵はシカの被害対策の中心です。徹底した柵を張り、物理的に農作物を隔離し、上手に管理を行えば、被害を防除することができます。柵は、農作物の被害を防ぐ最大の方策です。ステンレス繊維が編みこまれている合成繊維ネットはかなり頑丈で、外から中が見えない遮光ネットの併用も効果的。電気柵はイノシシにも対応する場合には適しています。

〈昼夜を問わない行動〉

「2～3時間餌を食べ、2～4時間ほど休んで」の繰り返し。これが1日のサイクル！シカは特に夜行性というわけでもなく、季節や食べ物によっても異なりますが、昼間は主に森林の中において、農耕地などの開けた場所へは夜間に出てくることが多いです。

イノシシ編

イノシシは十二支(干支)のひとつで私たちにとってはなじみのある動物ですが、意外とその生態は知られていません。習性や行動に対する誤解から、あまり効果の期待できない対策をして失敗する例も少なくありません。被害防止の第一歩は、まずイノシシのことを正確に知ることが大切です。



約1.2mの高さを飛び越えるイノシシも、柵の上部を折り曲げるだけで侵入できなくなる

【ニホンイノシシ】日本にいるのはニホンイノシシとリュウキュウイノシシ。ニホンイノシシはこれまで生息が難しいといわれていた豪雪地帯にも分布を広げつつあり、ここ数年、被害が急増しています。昼間は茂みのなかで休み、日没後に田畑に侵入します。

毛

硬くて電気ショックも感じない。

目

視力0.1なのに100m先の敵が見分けられる。青系統の色彩は識別できるが、赤系統は識別しない。

口

植物・昆虫・小動物などなんでも食べる雑食性。



イノシシの正体はこうだ!

頭

学習能力は高く、記憶力もイイ!

鼻

犬に匹敵する嗅覚があり、全身の感覚が集まるところだ。パワーショベルのように働き、70kgも持ち上げることができる。電気柵ではこの繊細な鼻をねらう。

《イノシシはかなり賢い!だからあきらめないで対策を!》

人の動きを観察し、真似をする賢さがあり、覚えが早く一度覚えたと忘れない記憶があります。一度入った水田・畑は安全と考えて再び被害を与えるので、最初の侵入を防ぐことが大切。

また、隠れやすい草木が茂った耕作放棄地をよく利用するので、草刈りなどの管理を徹底することが重要。一度被害を受けてもあきらめず、柵の管理と改良を繰り返すことが大切です。

《イノシシのお気に入りにご注意!》

イモや根茎、タケノコ、ドングリなどのほか昆虫の幼虫やミミズ、カエルなどを食べます。クズの根はお気に入りなのでクズ(市内でもよく見かけます)が繁茂していたら要注意!

イノシシ Q & A

Q 人を襲うことはありますか?

A 人が餌になる食べ物を持っていたり、イノシシに物を投げたりすれば、イノシシが追いかけてきてぶつかってけがをすることがあります。このようなことをしなければイノシシから人に近づいてくることはありません。

Q イノシシがいたらどうしたらいい?

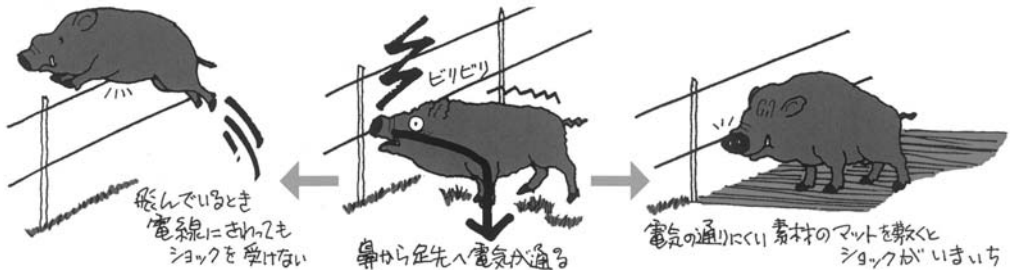
A イノシシに近づいたり、ものを投げたりしてはいけません。

対策

トタンや金網、あるいは電気柵で囲うのは重要な対策。でも、わずかなすき間でもあればぐり抜ける、跳び越えるなど高い運動能力を駆使して突破してきます。特に、電気柵は過信のもとで、電線に雑草が接触していると漏電状態になってしまうので、下草の管理を怠ればただの柵と変わらなくなること。イノシシは鼻先以外、電気ショックを受けないことも忘れずに!



イノシシの視線(70cm)から柵より50cm離れて見上げると約20cm高く感じるのが30度の折り返し



Q

イノシシ・シカ・サルの農作物被害をよく聞きます。ところで三重県での状況はどうなっているの?



A

東海3県のうち三重県の被害状況(平成18年度)

	面積	量	金額
サル	1位	1位	1位
シカ	1位	1位	1位
イノシシ	2位	3位	2位

農林水産省生産局「野生鳥獣による農作物被害状況」統計から作成

参考資料:「みんなで防ごう鳥獣害」(社)農産漁村文化協会 提携事業センター
農文協刊「イノシシから田畑を守る」江口祐輔氏 東京都環境局自然環境部計画課ホームページ
写真:シカ(上)/藤原岳自然科学館 シカ(下)/高槻成紀氏 イノシシ/近中四農研 江口祐輔氏 提供

問 藤原庁舎 農業振興課
T 46-6060 F 46-6319